

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 運営会議 議事録＞

日時：平成 25 年 7 月 9 日（火）19：00～21：00

場所：アイスクエアビル 会議室にて

出席：倉富会長、山口副会長、小池副会長、江渡、前田、川辺、原、仙波、佐藤、村岡、堀、米田、鶴田、本山、熊谷（15名）

I. 報告事項

1. OT 協会関連

1) 都道府県連絡協議会総会

・期日：平成 25 年 6 月 27 日（木） 14：30～18：30

・場所：エル・おおさか（大阪府労働センター）

・出席者：倉富会長

①第 11 回協会・都道府県士会合同役職者研修会の開催 7 月 27 日・28 日

→倉富会長、川辺事務局長を派遣

②役員改選 九州ブロック 志井田福岡士会会長 → 沖長崎士会会長へ交代（7 月より移行）

③その他の報告：

③-1 福祉用具相談支援システム経過報告

・OT協会が開発・構築した、福祉用具の適応・選定・適合に関する相談支援と情報提供を可能にするOT協会会員向けのWebシステム。

・平成24年度14士会が申請。平成25年度新たに14県士会から申請あり。合計28県士会で稼働。

③-2 生活行為向上マネジメント全国会議（中村会長）

・8月17日、18日に開催される会議について中村会長より説明あり。

・この事業は国の研究事業として4年間実施した。

・結果として、生活行為向上マネジメントについて国は認めてくれた。あとは実戦で結果を出すことが求められる。

・国の施策に落とし込めるようにしなければならない。この為に OT 協会の事業として展開する。ポイントは機能訓練に終わっている現状をその人の主体的な生活に寄与できること。

ひいては健康を維持増進できることに繋げる事である。

・このことを通して、地域ケア会議等での作業療法士の役割を明確にしていきたい。

・今求められているのは個別支援、圏域での支援、県・自治体でのサービスシステムの機能を活かせる人。心身の機能、活動の機能、参加の機能（社会的背景）がみれる人の人材育成が急務である。

以上の事より推進会議を開催する。

・県士会として

・推進役が取れる人。

・医療保険領域で実践でき事例を2症例提出できる人。

・介護保険領域で実践でき事例を2症例提出できる人

の3名で構成したいので人選してほしい。

③-3 認知症初期集中支援チーム（香山理事）

- ・認知症の初期集中支援サービスの構築に向けた基盤研究事業の報告書が3月に出了されたが作業療法及び作業療法士に関する内容がなかった。
- ・平成25年度OT協会が認知症初期集中支援チーム関連の研究費を取ることができたので作業療法の役割を入れ込みたい。協力してほしい。

2. 九州士会長会関連

1) 第1回九州地区作業療法士会士会長会議

- ・期日：平成25年6月27日（木） 15：30～17：00
- ・場所：エル・おおさか（大阪府労働センター）

議事：支部長の交代

- ・参議院選挙への取り組み
- ・OT学会 来年は神奈川でWFOTとの合同で、H27 兵庫県までは6月開催。H28 北海道からは9月開催。H29からは全国を5ブロックに分けて、支部単位で開催。理由は5,000人が入れる会場が地方ではない。

3. 一般社団法人関連

- ・佐賀県長寿社会振興財団からさがゆめ大学への講師派遣依頼あり
- ・内容は身体の仕組みと健康①及び②。佐賀・鹿島・唐津の3カ所で開催。
- ・佐賀会場：6月27日 ①身体機能関連 → 野崎 忠幸会員（佐賀県医療センター好生館）
10月3日 ②認知機能関連 → 行徳 真理会員（鳥栖広域市町村圏組合）
- ・唐津会場：7月24日 ①身体機能関連 → 前田 憲志会員（服巻医院）
10月9日 ②認知機能関連 → 山口 美紀会員（小島病院）
- ・鹿島会場：11月19日 ①身体機能関連 → 中倉 孝行会員（志田病院）
1月21日 ②認知機能関連 → 田崎 晃子会員（嬉野温泉病院）

4. 県関連

①佐賀県在宅生活センター関連

- ・福祉用具調整担当で作業療法士の配置 前田 洋子氏 週に3日 嘱託で勤務。
- ・佐賀県在宅生活サポートセンターの移転新築に伴う委員会を設置する。佐賀県作業療法士会会長在宅生活サポートセンター指定管理者として委員依頼あり。7月4日第1回委員会開催。
- ・県士会からの会員の派遣 6月9日より ⇒ 詳細は佐藤事業部長

② 平成25年度第1回高次脳機能障害リハビリテーション講習会

- ・日時平成25年8月31日（土）14：00～16：00
- ・場所生涯学習センター「ドゥイング三日月」多目的ホール
- ・内容講演「高次脳機能障害の方の地域・生活支援」
講師岐阜医療科学大学教授阿部順子氏

5. 佐賀県難病支援の会総会 平成 25 年 6 月 15 日
・佐賀県在宅生活サポートセンター所長 石原氏が出席

6. 合同学会準備委員会
・毎月 1 回準備委員会を開催。プログラム及び講演の講師はほぼ決定。別紙参照。

II. 協議事項

1. OT 協会関連

- 1) 生活行為向上マネジメント全国会議
・OT 協会も協会事業として位置付け。佐賀県士会も事業局の事業として位置付ける。
・8 月 17 日・18 日の会議への県士会からの派遣者
推進役として小池事業局長。医療保険領域、介護保険領域より各 1 名推薦。

2. 県士会関連

- 1) 認知症家族会との連携
・9 月 29 日 研修会の講師依頼あり。打合せ 7 月 24 日。
⇒研修会の講師は倉富会長。
- 2) 日本義肢装具学会学術大会
・10 月 26 日・27 日 佐賀市文化会館で開催。浅見豊子先生が大会長。
・学術大会への寄付金 3 万円寄与する。
・学会への参加及び当日のスタッフの協力をお願いしたい。
- 3) 佐賀県在宅サポートセンター関連
・11 月 7 日（木） 介護の日イベント アバンセホールで開催。
介護とリハビリをテーマとした内容で企画。
・自助具工房（平成 25 年度は 6 回予定）
5 回分は井手將文先生（佐賀大学高等教育開発センター）に依頼。
1 回分は車椅子・シーティング関連。OT 士会で対応したい
⇒ 誰か推薦者がいればお願いしたい。
- 4) 作業療法啓発活動
・日程など ⇒ 作業療法フェスタなど企画（詳細は事業部より報告）

⇒ 承認

III. 各部局からの報告

1) 学術局（江渡学術局長より報告）

- ・教育部関連
・9 月 29 日（日）メイトプラザにて現職者選択研修（老年期）を開催。
・10 月 20 日（日）には武雄看護にて現職者選択研修（身障分野）を開催。
・11 月には緑生館にて現職者共通研修を開催。
進捗状況として、案内発送を行っている状況。

2) 学術部（前田学術副部長より報告）

・第 48 回研修会について

7 月 7 日（日）に「テーマ：生活行為向上マネジメントの活用 講師：村井千賀先生」にて開催した。参加者は 36 名。今研修会より、参加者に感想文を書いてもらい HP に掲載していく。

・第 49 回研修会について

日程：平成 26 年 3 月 9 日（日）。テーマは発達領域。講師は古野優子先生（北九州市立総合領域センター）と北九州市の教員を予定している。参加者に関しても OT 会員に加えて、県内の教員や保護者などにも呼び掛ける。

・各地区の学術部員 2 名を配置していく。

前回の報告より新たに東西松浦地区より末次 OTR（山のサナーレクリニック）を加えた。

3) 事務局（川辺事務局長より報告）

・7 月 9 日現在会員数は 414 名。推測ではあるが、県内には有資格者は 500～550 名はいる。再度、県士会会員への入会を勧誘しなければならない。

・表彰 平成 26 年 3 月 ⇒該当者なしで報告する。

4) 事業部（佐藤事業部長より報告）

・佐賀県在宅生活サポートセンター相談窓口事業に関して

6 月 9 日（日）に有志で集まった会員に対して説明会を実施。16 名の参加者で輪番制をとる。月 2 回の頻度でまずは始めていく。またこれまでのサポートセンターで待つだけの事業ではなく、地域に向く形で考えていく。

・OT フェスタについて

10 月 6 日（日）にゆめタウン佐賀で実施予定。8 月 10 日（土）に打ち合わせ会議を行う予定。

5) 第 14 回佐賀県作業療法士学会（本山地区担当部長より報告）

・会計報告。県学会の最終的な参加者は 106 名。

6) 第 15 回佐賀県作業療法士学会（鶴田地区担当部長より報告）

・平成 26 年 5 月に武雄文化会館で行う予定で調整をしている。

7) その他

・佐賀県訪問リハビリ研修会：平成 26 年 2 月 9 日（日）、2 月 23 日（日）の 2 日間で開催予定。

・佐賀摂食嚥下リハビリテーション研究会県民公開講座を 11 月 16 日（土）に開催予定。

次回、運営部会 9/10（火）アイスクエアビルにて 19：00～